

西小学校だより 令和4年(2022年)度 11月号

<教育目標> 「自分のよさを発揮し、人と支え合い、高め合う子ども」 大阪狭山市立西小学校
～「コミュニティ・スクール」の取組みの推進～

全国学力・学習状況調査の結果から



10月15日(土)に西小学校の運動会を開催しました。皆さま、お忙しい中、運動会をご参観いただきまして、たいへんありがとうございました。子どもたちの一生懸命な姿は、私たち教職員や保護者の皆様、地域の方に大きな感動を与えてくれました。

秋といえば「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」といくつかあげられます。学校では、落ち着いて学習に向かう秋でもあるかと考えます。

今年度も全国の6年生児童を対象に、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。この調査は、子どもたちの6年間の学びの定着度を把握・分析・検証し、今後の教育施策や授業改善につなげるためのものです。西小学校の子どもたちの調査結果の概要は、以下のとおりです。

- ・対全国比の平均正答率は、全教科(国語・算数・理科)おおむね良好な結果でした。無解答率も全般的に低く、最後まで粘り強く問題に取り組もうとする姿勢が見られました。
- ・全教科、記述式問題の正答率において良好な結果でした。
- ・国語では、「書くこと」、「読むこと」に関する設問において、良好な結果でした。「話すこと・聞くこと」には課題が見られました。
- ・算数では、「数と計算」、「図形」、「変化と関係」、「データの活用」のすべての領域において、良好な結果でした。
- ・理科では、「粒子」を柱とする領域において、良好な結果でした。特に「地球」を柱とする領域には課題が見られました。

*詳しい内容は本校のHPに掲載しております



今回の調査においても、いくつかの資料をもとに「しめされた条件に合わせて、あなたの考えを書きなさい。」という問いや、さらに「なぜ、そう考えたのか。」その根拠を「〇〇字以内で書きなさい。」という問題が、国語科だけでなく他教科においても見られました。

学校教育法等に基づき、各学校で教育課程(カリキュラム)を編成する際の基準である学習指導要領では、これからの社会は「将来の予測が困難で変化の激しい社会」と位置付けられています。グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化などを受け止め、未来の社会を創り出していくために必要な資質・能力を子どもたちに確実に育むことが、学校教育における重要な柱であるとも示されています。

西小学校では、学習指導要領の学力観である「主体的・対話的で深い学び」について、授業改善に取り組んでいます。特に今年度は「根拠をもって、思いや考えを書く力を育てる」をテーマに、思考力や判断力・表現力を伸ばすことに努めています。記述したことをもとに自分の思いや考えを互いに説明し合い、互いの良さを見つけ合いながら考えを深めていくことは、子どもたちの学力の向上と自己肯定感を高めていくことにつながります。

これからも西小学校教職員は、すべての子どもたちが個性を発揮しながら輝くことができる授業づくりに取り組んでまいります。

保護者の皆さま、地域の皆さま、温かいご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 泉谷 一